

# いながわ

## 議会だより

第 **115** 号

平成17年(2005年)4月28日

発行：猪名川町議会  
編集：議会広報特別委員会

〒666-0292 兵庫県川辺郡  
猪名川町上野字北畑11-1  
TEL(072)766-8710



**17年度予算を可決 効果的・効率的な執行を!** 2

**代表質問** 5会派が町長に問う 5

**議案審議** 3月定例会 10

**委員会の活動報告** 人事行政の運営等の状況を公表 など 11

**一般質問** ここが聞きたい 13

**こどもたちの声** 17

**日曜議会・編集後記** 18

町制施行 **50** 周年

記念式典  
(イナホール)

# 効果的・効率的な執行を!

## 国の財政改革・町民税の減による厳しい財政

### 予算特別委員会

17年度各会計予算は、特別委員会ですら5日間にわたり審査した。委員会での主な審査は次のとおり。



子育て奮闘中。がんばれ!(子育てセンター)

17年度 会計別の予算額

区分	平成17年度当初	対前年度増減(%)
一般会計	94億600万円	△ 3.1
特別会計		
国民健康保険	17億3,943万3千円	11.0
介護保険	10億8,808万5千円	2.1
老人保健	19億4,451万3千円	2.0
農業共済	4,147万8千円	△ 5.7
農林商工業振興資金	2,787万4千円	△ 6.9
下水道事業	10億1,377万4千円	5.7
奨学金	944万1千円	0.0
小計	58億6,459万8千円	5.1
水道事業会計	12億4,219万4千円	4.3
合計	165億1,279万2千円	0.2

**A** 災害に対して万全というわけではないが、バイパスとしても有効。

**《教育》**

**Q** 学校への安全対策として、ガードマン等を配置する考えは。また、学校によっては、職員室が2階にある。安全対策上、検証も必要ではないか。

**A** 現在、保護者、地域の協力を得て、児童・生徒の安全確保に努めている。ガードマン等の配置をされているところもあるが、不審者をどう見分けるか等課題も多いため、現在のところ関係部局との連携強化を図りながら体制作りを行っていききたい。また、2階の職員室については、今後検証

### 一般会計

#### 《財政運営》

**Q** 三位一体の改革など厳しい中、予算編成においてどのように配慮されたか。

**A** 国・県支出金などの財源確保に努め、起債(借金)可能なものは適正に発行する。不足分は基金(貯金)から繰り入れる。歳出では経常経費(人件費等義務的経費)の削減に加え、パソコンリース期間の延長、観葉植物の全廃、敬老祝金制度の一部見直しなどを行い、福祉、教育など差し迫って必要な事業に重点を置き、現状のサービスを低下させることがないように努めた。

**Q** 景気回復がいわれており、今後、税収も増加が見込めるのでは。

**A** 景気回復は法人所得であり、個人所得にまでは至っていない。また、人口は増えてきているが、高齢化や所得の減少により、財政的には引き続き厳しいと見込んでいる。

**Q** 税収減の要因は。

**A** 個人町民税が大きな要因。納税義務者数は対前年比で1.5%増を見込んでいるが、大半が給与所得者であり、景気低迷により所得が伸びないため、10%程度減収と見込んでいる。

#### 《広報コミュニティ》

**Q** ふるふる猪名川の視聴者数は。

**A** 町内のケーブルテレビ契約世帯は約26%。

#### 《福祉施策》

**Q** 要保護児童対策協議会設置への予算措置は。

**A** 予算計上はしていないが、早い時期に設置したい。

**Q** 独居高齢者の孤独死もあるが、対応は。また、敬老金は維持すべき。

**A** 民生児童委員だけでなく、老人会、老人クラブ等とのネットワーク化に努め、地域住民とともに協力して独居高齢者を把握し、緊急通報システムの普及に努めたい。また、敬老金を削減するが、真に支援が必要な方への支援や次世代育成施策を充実させていきたい。

**Q** 高齢者ごみ出し支援事業ふれあい収集とは。

**A** ひとり暮らしの高齢者・障害者で、ごみ出しの困難な方を対象に、詳細について検討していきたい。

**《医療》**

**Q** 尼崎医療センター休日診療及び川西応急診療所休日診療の内容は。

**A** 尼崎医療センターは耳鼻咽喉科・眼科の診療を休日前9時から午後4時及び年末年始の夜間。川西応急診療所は内科・小児科の診療を平日の午後8時から午後11時及び休日。また、川西市ふれあい歯科診療所は休日の診療及び障害者の診療を行っている。

**《道路整備》**

**Q** 木間生旭ヶ丘線は、県道川西篠山線が不通となった場合の抜本的な対策を施した上で計画すべき。



入園できない事態が生じた松尾台幼稚園

昨年続く収入減での厳しい財政運営であるが、予算に対しての厳しい姿勢が見られない。また、敬老祝金等、福祉施策の切捨てが行われている。歴史街道、福祉の道、木間生旭ヶ丘線の整備事業を見直し、凍結してでも福祉施策にまわすべき。

反対

### 一般会計 討論

賛成多数で可決

町税の減収、三位一体改革における交付税の減等、深刻な状況の中、財源確保に努められ、歳出面においては乳幼児医療の所得制限撤廃等、少子化への対応や日生中央駅のエレベーターの整備事業等、福祉・教育への対応や、さらに歳出全般に見直しをされている。

賛成

特別・企業会計

国民健康保険

Q 基金取り崩しにより、保険税額を下げる考えは。

A 高度・高額医療が進み、給付費が増加となる中、基金取り崩しにより、予算編成を行った。税額については、一人当たりの医療費も高額になっており、今後上げる必要がでてくるかもしれない。

Q 退職被保険者国民健康保険税が増加している要因は。

A 退職者医療の負担割合について制度改正が行われ、一律3割負担になり他の保険制度と負担割合が同じとなったため。

(全会一致で可決)

介護保険

Q 訪問調査委託が12カ月から24カ月に改められたが対応できるのか。

A 訪問調査後に状態が変わった場合は、申請により調査を行い、認定審査会で検討する。

Q 訪問調査員によって調査内容にばらつきはないか。

A 認定審査については県のマニュアルに基づいて行っている。年一回の講習会や介護支援専門員への説明、認定審査委員との合同研修会などを通じて共通化を図っている。

(全会一致で可決)

奨学金

Q 給付から貸付制度へと移行し、基金で何年くらい制度の維持ができるのか。その後の考え方は。

A 基金の動向については、現状のまま貸し付けると4年後にはマイナスとなる。その後は、一般会計からの繰り入れや寄付金により対応したい。

(全会一致で可決)

水道事業

Q 県水の料金体系の見直しは。計画水量の変更は。自己水の有効活用は。

A 新しい料金体系の導入は20年度である。県水の契約は渇水時の安定供給を考えると変更できないと考えている。自己水の有効活用については、県水の責任水量70%の受水枠を活かしながら、自己水の活用も図っていく。

Q 鉛管の取り替え工事は2年で完了か。

A 3カ年計画で、伏見台、松尾台地域を行い、在来地域については、約800戸を2カ年計画で行う。

(全会一致で可決)

(このほか、老人保健、農業共済、農林商工業振興資金、下水道事業の4特別会計も全会一致で可決)

お知らせ

あなたも議会・委員会を傍聴しませんか

議会では、みなさまの身近なことを論議しています。

まちづくりを一緒に考えてみませんか。

傍聴の手続きは簡単で、当日、事務局で受付簿に記入していただくだけで傍聴できます。

(本会議20名、委員会10名まで)

●お問い合わせは議会事務局へ (☎766-8710)

17年度 議会の日程 (予定)

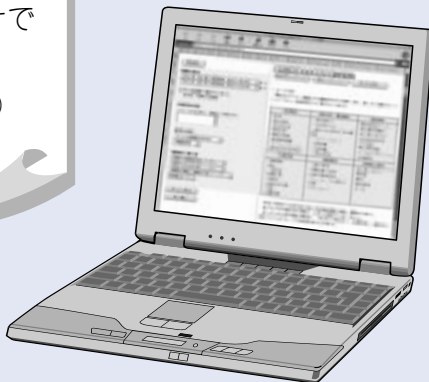
- \* 6月定例会 6月10日～24日
- \* 9月定例会 9月13日～30日
- \* 12月定例会 12月9日～22日
- \* 3月定例会 18年2月24日～3月27日

議事の都合により変更することがあります。日程については、ホームページでもご覧いただけます。

インターネットで会議録が検索・閲覧できます

14年3月定例会以降の本会議の会議録がインターネットでご覧になれます。

猪名川町のホームページからアクセスできます。





西谷 八郎議員

# 清流会

関口功男議員  
福井昌司議員  
西谷八郎治議員  
尾川悦子議員

## Q 今後の自治体形成に向けての取り組みは

## A 行政のさらなる簡素効率化を図る

今年度の予算編成は、地方交付税や税収の落ち込みが続く中、大変厳しい作業であったと推察する。そのような情勢下にあつて、教育と福祉に重点を置き、「人」を大切にする姿勢は町長の政治理念の現れであると評価する。

**問** 今、求められるのは職員の熱い姿勢と、民間の経営感覚を町政に取り入れ、組織や仕事の進め方を改革していく必要があると思うがどうか。

**町長** 地方財政計画の合理化と健全化に向け、より一層の行政改革を推進し、事務事業の見直しや民間委託の推進など、徹底した経常経費の削減を行い、行政評価・情報公開・パブリックコメント等、住民に開かれた行政運営をさらに推進する一方、適切な手法による財務状況の把握、民間企業等の経営管理手法等の活用により、簡素効率化に向け取り組む。

**問** 民間の能力活用や、住民サービスの向上に向けた「指定管理者制度」の導入について問う。

**町長** 公の施設の管理について、一部の団体に限定していたものを、広く民間事業者へ拡大するとともに、使用許可処分のような権力的作用についても指定管理者が行えるようにし、経費の削減とサービスの向上を図るものである。新年度中に条例制定や所要の手続きを行い18年9月までに導入する。

**問** 危機管理体制の充実を図る上で、災害や犯罪の事態に迅速に対応できる取り組みは。

**町長** 川西警察署における防犯情報などをパソコンや携帯のメール機能を使って発信する「川西防犯ネット」が3月に稼働されるので、自主防犯活動に役立つよう、犯罪・事故等の情報を地域安全推進協議会や地区防犯委員等へ素早く配信できる体制を構築し、安全で安心な町づくりに取り組む。

**問** 地域経済の活性化と地域雇用の創出を目標とした「清流に育まれた太閤伝説と木喰の郷創生計画」の今後の展開は。

**町長** 「歴史街道整備事業」

携帯電話のメールで情報を発信「川西防犯ネット」



と「清流猪名川を取り戻そう町民運動」をマッチングさせ、さらに効果的に推進するため国の制度を活用し、観光客などとの共生・対流を推進するとともに、新年度は「散策路」「資料館」の整備や「観光ガイド」を設置し、本町の取り組みをPRすることで、より多くの観光客流入をめざす。

**問** 幼稚園施策についての考え方を問う。

**教育長** 現状における課題・問題点を洗い出し、現在の3園体制にこだわるこ

なく、抜本的な園区のある方を研究し、新年度早期に基本的な方針と具体的な方針を示す。

**問** 教育構想「わくわくスクールプラン」に基づく取り組みとは。

**教育長** 教育構想検討委員会の答申を受け、具体的な行動計画として策定し、中学校区ごとの連携推進組織を核として、一貫カリキュラムの編成や教科指導のシステム改善など、地域に根ざした魅力ある教育を展開する。

# 民 政 会

福田長治議員  
福本典子議員  
山崎福市議員  
道上善崇議員



山崎 福市議員

## Q 歳出抑制及び教育とまちづくり施策は

### A 住民の参画と職員の経営感覚の育成

#### 歳出抑制について

**問** 行財政改革をさらに推進して、徹底した歳出の抑制を図るとあるが、歳出抑制の基本的な考えは。

**町長** 地方分権の推進により、地方行政の役割は複雑化しており、行政サービスの効率的な経営感覚、政策協定や法務執務、参画と協働等の行政課題を派遣研修等を通じて職員の育成に努めているところである。

#### 乳幼児の地域医療について

**問** 県を中心に病院・医師会の参加を得て、早期に施設整備に取り組むとあるが乳幼児は夜間、早朝に発病するようであり、猪名川町域の近場に必要と思うが。

**町長** 夜間の小児救急は川西市応急診療所に、二次救急は近隣の病院に頼っており、十分な状況ではない。小児救急は阪神北部広域での休日・夜間救急センター

の整備実現に向けて強く働きかける。

#### ごみ出し支援について

**問** ひとり暮らし高齢者等へのごみ出し支援事業は。

**町長** ひとり暮らしの高齢者等で自らごみをごみステーションに出す事が困難な世帯へ「ふれあい」を基本に、自立した生活を支援しようとするものである。地域自治会、福祉関係者等の意見を聞き現状のごみ収集体制のなかで取り組みたい。

#### 地域産業のまちづくりを

**問** 先進自治体ではJAと野菜生産者が主体となり、野菜単品販売と新鮮野菜のバイキングを提供して好評。地域資源を生かした産業のまちづくりを。

**町長** 道の駅をさらに発展させるために、JA兵庫六甲猪名川野菜部会が四季の野菜調理実演や専門家の新

たな料理実演などを計画。町も取り組みを支援する事が、農産物を生かしたまちづくりにつながると考えている。

#### 小学校の耐震施策は

**問** 楊津・大島両小学校の耐震不適格校舎の改築計画があるが、南海・東南海地

震も言われている。子供たちが安心して学べる校舎整備の基本的な考えは。

**教育長** 楊津・大島両小学校の耐震診断等の調査結果を受けて、両校の現在位置に改築する。17年～19年度に実施設計・新校舎建設、20年4月の開校をめざして



農家のもてなし料理が好評のオーガニック農園（大分県大山町）

施設整備を進める。

#### 新入園児数の不均衡是正を

**問** 少子化の影響により、園児数の減少地域と増加地域があり、3幼稚園の入園児数に不均衡が生じている。園児の利便性に配慮、及び重複投資を避ける工夫を。

**教育長** 対象園児の減少地域と増加が見込まれる地域があり、各園區の園児数に不均衡が生じている。指摘の件も含めて今後の幼稚園施設について、早期に方針を示したい。

#### 教育方針並びに安全施策は

**問** 国語、数学（算数）、理科等の学力低下に文科相は新学習指導要領に言及。学習は学習指導要領に基づくと思うが、教育方針並びに児童生徒たちの安全施策は。

**教育長** 幼・小・中の連携、活力ある学校・園、人間尊重、教師自らの人格形成と指導力の向上を重点項目としている。文科相の指摘については国・県の動向を見守りたい。安全確保は教職員、県警ホットライン、地域ぐるみで取り組んでいる。



下坊 辰雄議員

# 日本共産党 議員団

下坊辰雄議員  
池上哲男議員

## Q 歴史街道整備による雇用促進の考え方は

## A 観光ガイドなど人の需要が予測される



地域再生計画により整備される歴史街道予定地（木津）

**問** 指定管理者制度は、民間企業に丸投げにより住民が公平なサービスを受けられなくなる危険性もある。  
**町長** 住民サービスの管理運営を民間事業者もできるようにすることで、民間のノウハウを活かした機動的・弾力的な経営を行い、経費の節減を図りながら、住民サービスの向上を図ろうとするもの。

**町長** 新年度から整備を予定している「散策路」ができ、その拠点となる「道の駅いながわ」での利用者が増し、関連して設置する観光ガイドなどへの需要が予測され、経済の活性化と雇用の促進が生まれる。

**問** 乳幼児医療助成の所得制限を町独自で撤廃されたが、基本の医療費、入院費の一部負担は県の言いなりか。  
**町長** 現行の入院については、新たに負担を求めるが入院以外は同一保険医療機関となり、実質的には現行の一部負担金の限度額より引き下げと考える。

**問** 敬老祝金の一律廃止を行い、福祉基金を取り崩し「福祉の道」を整備される。機能回復訓練に広く役立つとあるがその施策は。  
**町長** 施設利用者の歩行による利便性の確保のため連絡道機能、高齢者や障害者の健康増進・リハビリテーション活動のための機能の観点から整備を進める。

**問** 楊津・大島各小学校の改築は、昨年の施政方針では統合し新設すると言われたが、9月議会では各小学校で改築すると変更された。子どもたちが安心して学べるよう危険箇所の整備は。  
**教育長** 耐震診断等調査の結果を受け、両校の不適合校舎を現状の位置において改築する方針で、一日も早く児童たちが安心して学べる最小限の範囲で校舎保全に努める。

**問** 町制50周年の「シンボルマーク」をなぜ全国から募集したのか。本町に生まれ、生活実感の中で生まれる「シンボルマーク」を、町民みんなが共感できることが必要であり、企画部の発想は間違っているのでは。  
**町長** 応募総数473点も作品が寄せられ、審査委員会等で厳正な審査の結果、本町のイメージと作成者の意図する主旨とが一致していた作品に決定した。

**問** 幼稚園3園方針では児童急増に対応できない。つじが丘の子どもたちが安心して入園できる施策は。  
**教育長** 一部ニュータウン

# リベラル 猪名川

中島孝雄議員  
時崎 巖議員



時崎 巖議員

## Q 町制施行50周年に対する町長の感慨は

### A 住民とよもに住みよいく町づくりを推進

第325回猪名川町議会  
定例会初日に行われた17年  
度当初予算案をはじめ関連  
する諸議案に関する、町長  
の町政に取り組まれる所信  
について質問する。

なお答弁については、会  
派への答弁ではなく、全体  
の奉仕者の最高責任者とし  
て住民一人ひとりに向けて  
答弁されることを望む。

**問** 17年度の施政方針は、  
例年になく量的に少なかっ  
たがどうだったのか。

**町長** 新規事業や事業拡大  
する主要なものに絞り込ん  
だためであり、事業・施策  
が薄くなつてはいない。

**問** 町制50周年を迎えるに  
ついて町長の感慨は。

**町長** この大きな節目の年  
を町の為政者として迎えら  
れることは、感慨ひとしお  
のものがあるとともに、限  
らない発展を標榜する一人  
として身の引き締まる思い

である。  
今後は、いつまでも住み  
続けたいと思っていただけ  
るまちづくりを住民の方々  
とともに手を携えて推進し  
ていく。

**問** 「安全・安心」をキー  
ワードとされたが、とりわ  
け「安心」については、自  
己責任も含めて、個人的要  
素が多く、生命・財産、ま  
た年金、介護、医療、教育、  
子育て等々、生活にかかわ  
るものであるが、行政ので  
きる施策はどのようなもの  
と考えているのか。

**町長** 個々の住民が必要と  
している「安心」は、一様  
ではなく、その人のもつニ  
ーズや価値観で違っている。  
そこで、本町が行う「安心」  
に対する施策は、「安心し  
て住み続けることのできる  
まち」を創造していくため  
の、年金、介護、医療など  
の社会的保障や、教育、子

育てなど多岐にわたる。今  
後は、住民と行政、また、  
住民同士のコミュニケーション  
をより深めることによ  
って、より安心して住み続  
けることのできるまちを創  
造していく。

**問** 本町の高齢化率も遂に  
15%を越え、向う5年間で  
は益々その率を足早やに上  
げていくことが明らかであ  
るが、本町の後期総合計画  
の中の社会保障の項に、介  
護保険に関する記述が全く  
なく、高齢者にとっては先  
の見えない不安となってい  
るが、本町の介護保険はど  
のように考えているのか。

**町長** 介護保険制度は、施  
行後5年を経過し、介護給  
付費や要介護認定者が急増  
し、現在、その見直し法案  
が審議されている。

町としては、既存の介護  
保険サービスの充実はもと  
より、第3期介護保険事業

計画に反映し、高齢者の自  
立支援と尊厳の保持に向け  
取り組む。

**問** 今、全国的に教育改革  
が叫ばれ、2004年に  
「地方行政組織及び運営に  
関する法律」の改正で「地

域運営学校」の設置が可能  
となった。本町の場合施政  
方針の中で「わくわくスク  
ールプラン」が表明された  
が、どのような状況で作成  
されたものなのか。

**教育長** 「わくわくスク  
ールプラン」については、国  
・県の教育改革と連動しな  
がら、教育委員会として猪  
名川町の教育改革を具体化  
したものである。



記念式典には多くの人達が参加



小坂 正議員

# 政 和 会

切通明男議員  
小坂 正議員

## Q 多額の財源不足が予想されるが

## A 基金等を活用し財政基盤の安定化を図る

**問** 財政運営について多額の財源不足が予想されるが。  
**町長** 歳入総額が減少傾向となると予想され、徹底した経常経費を削減し行財政改革をさらに積極的に推進し、徹底した歳出の抑制を図る一方で、真に住民に必要なサービスを選択し実施することが必要であることから、事業全般にわたる徹底した見直しによる歳出の抑制、各事業の費用対効果や必要性・緊急性などを厳



町職員による環境パトロールと監視カメラ

しく再点検し、民間委託が可能なものは、積極的に推進し定員管理・給与の抑制に努め、基金等を活用して財政基盤の安定化を図る。  
**問** 子育て支援は。  
**町長** 少子化は深刻な問題であり、結婚や子育てに関する意識や社会環境の変化などに取り組みなければならず次世代育成支援に向けた事業を展開して行くことが求められ、住民ニーズを踏まえた総合的な施策を推

進するための指針となる「猪名川町次世代育成支援行動計画」を策定し、本計画に基づいて社会全体で一体となって少子化対策・子育て支援施策を推進する。  
**問** 地域医療体制は。  
**町長** 総合的な医療については、市立川西病院をはじめとする阪神北部圏域、さらには阪神、大阪北部を含めた広域な医療体制に頼っている。昨今の小児救急の重要性に鑑み、新年度に県主導のもと、阪神北圏域における小児救急医療体制の充実を図るため、広域での休日夜間救急センターの整備に係る会議を立ち上げ早期具体化に取り組みむこととしていく。  
**問** 不法投棄対策は。  
**町長** 増え続ける不法投棄防止対策として、15年4月から毎月一回の職員による環境パトロールを、また、昨年7月より「不法投棄防止条例」を施行し、住民全員で監視のもとに不法投棄防止に努め、新年度には抑止策として監視カメラを購入し、不法投棄の未然防止に努める。

**問** 人権教育については。  
**教育長** 同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、障害者、外国人などあらゆる人権課題の解決に向けて、「人権を考える町民の集い」や「人権教育セミナー」等の開催を通して、人権教育・啓発を推進する。学校における「いじめ」については、著しい人権侵害であり、絶対に許してはならない問題であると認識しており、各学校・園においては、子どもたちの人権意識を高めるために、道徳、特別活動の時間もとより、教育活動全般を通して人権教育の推進に当たっている。  
**問** 教育施設の整備は。  
**教育長** 住宅地の販売入居の状況に合せ、校舎等整備を進める。耐震補強が必要となる学校施設については順次補強工事を実施し、児童生徒はもとより施設の安全を図り、障害児教育のための施設・設備や人的配置については就学指導認定委員会や県の認定結果に基づき実施する。



# 3月定例会



第325回定例会を2月25日から3月25日まで開会し、人事案件3件、条例制定・改正(常任委員会へ付託)8件、16年度補正予算8件、新年度予算9件(予算特別委員会へ付託)、その他8件が上程され、いずれも慎重に審議し、原案どおり同意・可決した。

## 人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

曾我部史朗氏を再任。  
任期は20年3月31日まで。

人権擁護委員候補者の推薦に同意

森井隆子氏の推薦に同意。  
任期は20年3月31日まで。

損害評価会委員9名の選任に同意

芝祥弘氏、畑中作造氏、久保友紀雄氏、大西保司氏、平井利正氏、田中敏夫氏、塩川政文氏、北上倫聖氏、野田茂氏の選任に同意。  
任期は20年3月31日まで。

## 委員会への付託議案

### 本会議でこう決まりました

議案名	審議結果	付託委員会
・一般会計予算	可決 (賛成多数)	一般会計予算特別委員会
・国民健康保険特別会計予算 ・介護保険特別会計予算 ・老人保健特別会計予算 ・農業共済特別会計予算 ・農林商工業振興資金特別会計予算 ・奨学金特別会計予算	可決 (全会一致)	特別・企業会計予算特別委員会
・下水道事業特別会計予算 ・水道事業会計予算	可決 (賛成多数)	
・人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定 ・町税条例の一部改正 ・火災予防条例の一部改正	可決 (全会一致)	総務企画常任委員会
・職員公務災害等見舞金支給条例の制定	継続審査	
・水道事業給水条例の一部改正	可決 (全会一致)	建設環境常任委員会
・住民訴訟に係る弁護士費用の負担	可決 (賛成多数)	
・敬老祝金条例の一部改正 ・福祉医療費の助成に関する条例及び福祉金条例の一部改正	可決 (賛成多数)	文教厚生常任委員会
・保健センターの設置および管理に関する条例の一部改正 ・文化財保護条例の一部改正	可決 (全会一致)	

## 条例制定

人事行政の運営等の状況の公表に関する条例

地方公務員法の一部改正に伴い、人事行政の運営等の状況を公表することとなったため。

## 条例改正

敬老祝金条例の一部改正(改正前)

77歳以上、一律5千円。  
(改正後)  
77歳1万円、88歳2万円、百歳以上3万円。

**反対** 年間わずか約4百  
**討論** 万円の削減。高齢

者のささやかな楽しみを取り上げることに反対。

その他6件の条例改正。

## 受理した請願

「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書採択を求める請願書(請願者)

兵庫県国家公務員労働組合共闘会議

### 審査

総務企画常任委員会に付託、慎重審査の結果「不採択」。

本会議で「不採択」。



# 委員会の活動報告

## 人事行政の運営等の状況公表

総務企画

3月1日、委員会を開会。

付託3議案を審査。

人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について

地方公務員法の一部改正に伴い制定するもの。

Q 条例の目的は何か。

A 公表することで自律機能が発揮され、一層の適正化を推進する。

Q 具体的な公表内容は。

A 給与・定員等の状況や分限・懲戒処分的人数、時間外勤務、年次休暇の取得状況などを想定している。

町税条例の一部改正について

不動産登記法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴い、用語の整理等を行うため改正するもの。

るもの。

火災予防条例の一部改正について

指定数量未満の危険物等の取扱いに関する基準を条例で定めること及び再生資源燃料を指定可燃物に追加するため改正するもの。

Q 条例改正により、対象の施設は町内にあるのか。

A 町内には該当施設は無い。(いずれも全会一致で可決)

継続審査事件「職員公務災害等見舞金支給条例の制定について」を審査

2月7日及び3月1日、委員会を開会。12月議会において継続審査となった事件を審査。条例の主旨や公務災害補償との関係について改めて質疑を行い、さらに慎重に審査するため、全会一致で継続審査とした。



職員の給与・定員等を公表し、一層の適正化を図る

## 住民訴訟は個人を訴えることができない

建設環境

3月2日、委員会を開会。付託2議案を審査。

水道事業給水条例の一部改正について

給水義務の規定に基づき所要の整備を図るため、本条例の一部を改正するもの。

住民訴訟に係る弁護士費用の負担について

住民訴訟の勝訴に係る弁護士費用の負担をするもの。

Q 地方自治法改正後、住民訴訟において個人を訴えることは、今後なくなるのか。

A 平成6年以前は、個人が訴えられた訴訟費用は個人負担であったが、平成6年の改正以後は、当該職員が勝訴した場合の弁護士費用は公費負担が可能になり、平成14年の改正では、住民訴訟は、個人ではなく地方公共団体が対象となったことから、今後は、住民が個人を訴える事例は発生しない。今回の場合は、平成14年の改正前の事案である。(いずれも全会一致で可決)

# “(仮)福祉の道”整備事業 の進捗状況

文教厚生

- 2月2日、委員会を開会。  
〔(仮)福祉の道整備事業の進捗状況について〕を審査。
- Q 道路の舗装の方法は。
  - A 脱色舗装と土舗装に。
  - Q 夜間の照明は。
  - A 現段階では電気はなし。
  - Q 防護柵は。
  - A リハビリと景観にも配慮したガードパイプに。
  - Q 管理はどこになるのか。

A この道をひとつの福祉施設と考え、管理主体は町。



毎年楽しみのひとつとなっている敬老会

- 3月3日、委員会を開会。  
付託4議案を審査。
- 敬老祝金条例の一部改正について**
- Q 経費削減分はどこに。
  - A 少子化対策など支援の必要などところへの扶助。
  - Q 福祉医療費の助成に関する条例及び福祉金条例の一部改正について
  - Q 県下で乳幼児医療の所得制限撤廃の町は何件か。
  - A 13町が撤廃している。

A 保健センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

- Q 乳がん検診で40歳以上と40歳未満の検査方法が変わったのはなぜか。
- A マンモグラフィーの検査方法は、40歳以下は放射線吸収等の関係からしない。文化財保護条例の一部改正について
- Q 県の保護条例が改正されれば、本条例も改正か。
- A 県の文化財審議委員会を検討。その動向を見守る。(いずれも全会一致で可決)

## 住民と一体のまちづくり

総務企画

2月3日  
福島県矢吹町

「地域づくり活動育成・支援事業」として、地域住民等が参画するまちづくりグループの設立や運営への支援を実施。さらに、「(仮称)さわやか町民会議」を

立ち上げ、町と町民等とのパートナーシップによる自治体経営(行政経営)をめざしている。個性豊かで活力あふれる「協働のまちづくり」について研修。

2月4日

福島県矢祭町

岩手県、香川県、沖縄県等の8市町村合同の視察。「小さな町こそ輝いて」を

目標として、住民の支援を支えに「市町村合併をしない町宣言」をした経緯と今後の行財政運営について、「個人情報保護の保護」について研修。



## 介護保険制度と地域福祉計画

文教厚生

1月27日  
愛知県高浜市

高浜市の介護保険制度は上乘せサービスを実施し、介護状態の軽減や悪化防止に努めている。また、横出しサービスでは居宅介護支援券を発行するなど、市独自の制度を行っている。

地域福祉計画では「ふれあい特区」の指定を受け、策定委員は146名と多数で、大人から子供までが参加し、この住民主体のメ

ンバーに職員は裏方で協力。2学期制で特色ある教育を1月28日  
愛知県豊田市  
2学期制により行事の見直し等で授業時間が増え、基礎学力や心の教育が充実。

幼・保・小・中連携による指導の充実。  
幼稚園の終り頃から、小学校では知識を学ぶということを理解させ、小学校教育へなめらかに移行。

# 一般質問

# 7人が町の考えを問う



## 7人が町の考えを問う

定例会第4日（3月6日・日曜議会）に7人の議員が町政全般にわたって質問しました。

質問（Q）と答弁（A）の要旨を掲載しています。質問項目は下記のとおりです。

### 福田長治 議員

- ・猪名川町の今後の展望について

### 尾川悦子 議員

- ・地域安全ネットワークの整備について

### 切通明男 議員

- ・財政計画について
- ・本町の子どもは大丈夫ですか

### 中島孝雄 議員

- ・通勤・通学時の阪急バス（日生中央駅～川西能勢口駅間）の現状と対策
- ・防犯・防災とその危機管理について

### 南 初男 議員

- ・地域再生計画第2次の認定について
- ・町道の管理等について

### 池上哲男 議員

- ・町の行財政運営と役場の仕事について
- ・容器包装リサイクル法に基づき量販店への収集指導を

### 福井澄榮 議員

- ・今こそ3次救急「救命救急センター」を設置せよ
- ・庁舎増築と（仮称）福祉の道の新設の計画を撤回せよ
- ・学校に園芸教育を取り入れ情操教育に役立てよう



福田 長治議員

## Q 猪名川町の今後を問う

### A 町づくりに努力していきたい



ええやん 猪名川 50年  
明るく緑の似合うまち

応募多数の中から選ばれた  
町制施行50周年シンボルマークとキャッチフレーズ

**問** 猪名川町の人口は昨年に3万人を超え、また、今のところ合併もしないという選択をした。今年には町制施行50周年を迎えた今、今後の町づくりの意気込みを聞きたい。

**企画部長** 町総合計画にそって鋭意努力をして町づくりをしていきたい。

**問** 歴史街道の認定を受けたが、町には文化財もたくさんある。今後どういう取り組みをしていくのか。

**企画部長** 町内全域が歴史街道である。今回は散策路の整備であるが、今後は観

光ガイドのボランティアなどを育成し、過去からの歴史遺産を継承していくように努力をしていく。

**問** 「清流猪名川を取り戻そう町民運動」をしているが町域の80%が民有地の山林である。今は荒れ放題になっている山林を今後どのように考えているのか。

**環境経済部長** これからの里山整備のあり方を考えており、学校里山林やめぐみの森事業などまだまだ面積は少ないが、今後は全町、一体的に取り組んでいきたい。



尾川 悦子議員

## Q 緊急情報メールシステムへの対応は

### A 本町においても4月1日から開始する

昨年3月「情報化について」の一般質問で不審者対策など、緊急メール対応の提案をしたが。

**問** 県が緊急情報のメール配信システムを開始するが、本町での対応は。

**総務部長** 「ひようご防災ネット」とリンクするシステムは4月1日より開始す



幼稚園での防犯訓練

る。携帯電話のポケット通信を使用するため混線の可能性が低く、地震などの広域の大規模災害にも活用可能。地震や台風等の災害情報や不審者などの防犯情報の緊急情報と通常の町からのお知らせ情報を掲載の予定である。

**問** 「川西防犯ネット」は同じ登録で利用可能か。

**総務部長** 町のシステムとは別に登録が必要である。

**問** 学校の安全対策の取り組みはどうか。

**教育部長** 安全対策マニュアルを作成し、教職員に対する安全対策の指導を継続しており、不審者に対する迅速な対応などを中心に、川西警察署や近隣市とも連携する中、防犯委員を含めたネットワークの拡充に努める。

# Q 財政計画について問う

## A 行政のスリム化、歳出の抑制等を行う



切通 明男議員

**問** 本町では町民税・固定資産税・三位一体による地方交付税・基金等、今後減少傾向で、財源不足が予想されるが、今後の財政計画は。

**総務部長** 町民税は税制改正等方向性が不透明である。地方交付税は三位一体の改革と併せた制度改正等である。



まちづくりの指針となる総合計画と予算書

後の長期的な予想が困難であり、歳入総額は減少傾向になると予想される。少子・高齢化への対応や義務教育施設の整備等緊急課題解決への取り組みが必要となる。国庫補助負担金の一般財源化等地方の裁量度を高め、自主性を大幅に拡大する改革が進められている。町では行政のスリム化への対応、自主自立の個性豊かで活力ある地域社会の構築、地域情報化への対応、環境と調和した循環型社会の形成、災害等に強い安全安心な地域づくり、防犯対策等新たな行政需要に対しても取り組む。そのため徹底した歳出の抑制、真に住民に必要なサービス、各事業の費用対効果、必要性・緊急性等再点検し、民間委託が可能なのは積極的に推進。定員管理、給与の抑制に努める。

# Q 阪急バス日生～川西間の現状と対策は

## A 現状を把握し交通便の確保に取り組む



中島 孝雄議員

**問** 人口増加と都市計画道路の全面開通により、公共交通の利用方法が大きく変

化した。

特にパークタウン・つづじが丘の大型団地とその周辺住民は能勢電鉄の利用は極めて少なくなり、阪急バス日生～川西バスターミナルを利用するようになった。

これに伴い通勤・通学時の混雑が激しくなり、夕刻の川西バスターミナルでは日生行きバスが少ないこともあり、長蛇の列で並びすし詰め状態で帰路についている。

町はこの現状を把握し、町づくりと住宅開発の指導



通勤・通学のラッシュ時に混みあうバス（若葉）

者として、バスの増便やノンストップ特急などの要請をバス会社に示し、この路線に暮らす4千世帯、1万4千人の足となる交通便を確保する責任があると考え

**企画部長** 国土交通省・県・川西市・川西警察署・交通事業者・猪名川町で構成する地域都市交通改善協議会を設置している。現状を再度確認し行政と交通事業者が一体となり、住民の足となる交通便の確保に取り組む。

Q 地域再生計画第2次の認定について

A 国等の支援措置制度を利用活用する



南 初男議員

**問** 昨年12月8日に地域経済の活性化と雇用促進を目的とした地域再生計画の認定書が小泉内閣総理大臣から町長に授与された。  
 本年町制50周年を迎え、再生とは再び生まれ変わるという意味を含め、住んでよかった、住み続けたい町づくりを全国に発信していく



総理大臣から授与された地域再生計画の認定書

良き機会と位置づけ、真剣に取り組むべきと思うが。  
**企画部長** 本町は猪名川の源流である町として「清流猪名川を取り戻そう町民運動」を柱とし、国の支援措置を活用し、研修会への参加・人材の育成・都市と農村の交流を図り、最終的にはさらに人口増につながる施策に結びつけたい。

町道の管理について

**問** 槻並長谷線は、能勢町に通じる市町間連絡道路である。今後の見通しは。また、クリーンセンターに通じる町道が暗く防犯及び交通安全全面からも防犯灯等必要と思うが。

**建設部長** 槻並長谷線は管理者として順次整備をして行く。

**環境経済部長** 槻並・阿古谷間は交通安全と防犯の両面から安全対策を検討して行く。

Q 量販店に対するリサイクルの指導を

A かかっている費用を示し、要請したい



池上 哲男議員



コンビニに設置されたリサイクルボックス

**問** 15年度の全国のペットボトル回収量は、自治体での21・2万トン（生産量の48・5％）に対し事業系では5・5万トンと極めて少なく、自治体の収集・運搬費用の負担が大きくなっている、との数値がある。トレイや牛乳パックを加えるとさらに膨れあがる。（社）全国都市清掃会議や名古屋市の「資源化貧乏」解消には収集・選別も事業者責任・事業者負担が必要としている。

**問** ①2年前に「量販店への収集指導を」と質問したが、その後どのように指導したか。②例えばつじが丘の人口から推察して町での収集費用はどれくらいか。③今後「これだけの費用（税金）を使って収集している」といった数値も示しながら指導すべき。  
**環境経済部長** ①引き続き協力要請をしている。②具体的にはつかみ切れていないが、一人当たりの排出量からすると、かなりの経費がかかっている。③今後は「これだけの費用がかかっている」と言ったわかりやすい数字を示し要請したい。



福井 澄榮議員

## Q 庁舎増築と(仮)福祉の道の新設を白紙撤回せよ

### A 水道庁舎、(仮)福祉の道を建設する



水道庁舎に一元化される中央管理所（笹尾）

**問** 水道庁舎、議会会派室、監査委員・公平委員会室、教育長室他の庁舎を増築しようとしている。また住民がほとんど通らない(仮)福祉の道も新設しようとしている。この不況の中、また少子・高齢化が一気に進んで年々税収減となっている中、白紙撤回せよ。

**上下水道部長** 一元化するので建設する。

**住民生活部長** 中止しない。

**総務部長** 二階に教育委員会事務局他、三階に議会会派室、監査や公平委員会室も必要と判断している。

**今こそ3次救急「救命救急センター」を設置せよ**

**問** 寝屋川市内の小学校で先生が襲われて亡くなりました。住民のアンケートでも一番に救急医療の充実があがっている。災害に比較的強い本町内に老若男女の命を救う「救命救急センター」を設置せよ。

**町長** 現在、阪神北県民局管内に小児救急施設を配置する取り組みをしている。

**問** 学校に園芸教育を取り入れ情操教育に役立てよう。

**教育部長** 子どもたちの豊かな感性・情操を育てるため、さらなる充実に努める。



## こどもたちの声



### 休みじかんのいっしょ

大島小学校2年

辻内

勇輝

サッカーでーてん入れました。ムにかつてうれしくて「やった。」とおもいました。みんなから、「すごい。」といわれたのがうれしかったです。かんじくとサッカーのなまになつて、シートを五てんくらい入れたのがうれしかったです。

(1年生時の作品です)

### おつかい

猪名川小学校3年

崎口

育未

今日は、弟といっしょに自てん車でコープへ行きました。そして、たまごと生クリームと牛にゆくとホットケーキのこなを買いました。つぎにおつりやおやつを買いました。帰るとき、たまごがわれそうだから、スピードをおとしました。

たまごがわれないかなあ。

(2年生時の作品です)





# 議論 身近な課題を

## —どうする?こうする—

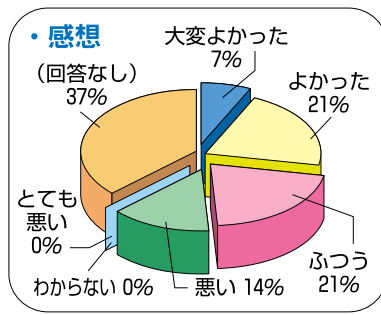
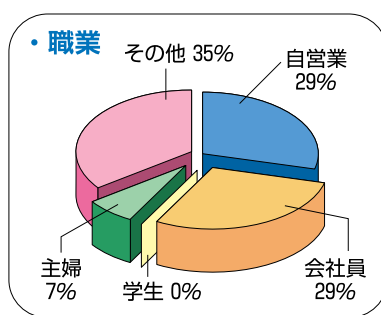
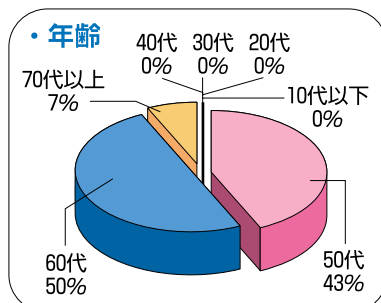
# 日曜議会

## 3月6日

平日は通学や仕事などで傍聴に来られない人など、より多くの人に議会を傍聴していただくため、3月6日に「日曜議会」を開催しました。

この日は、7人の議員が一般質問を行い、住民のみならず、身近な課題について質問しました。(詳細は13〜17ページ)

### ●アンケート集計結果(回答率73・7%)

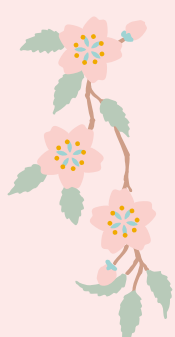


「協力ありがとうございました。」

### 傍聴者からのあまからご意見

- 住民の現状をわかってもらい、要望を実現化できるよう議員にパイプ役になってもらうことが大事。もっと日曜議会を増やし、多くの住民が関心を示すようになれば良い。
- 議会の様子が見学できることは大変良いことと思う。VTRなどで傍聴できなかった人に放映すれば、さらに町政に積極的参加が増えると思う。
- 具体的な答弁が欲しい。担当が体験していないので迫力がない。
- せっかくの日曜議会、工夫をすべきである。(一般住民の傍聴者を増やす努力を)
- 日曜議会をしても住民の関心があまり湧かない。傍聴者も平日とほとんど変わらない。(一部を掲載しています)

### 編集集 後記



桜の開花予測が今会期中に出されたが、今年は寒暖の日が交互し予測どおりにはいかなかった。

3月定例会の予算審議は議会にとって最も重要なものであるが、財政的に厳しくなると審議は逆に上滑りする可能性がある。

予算は町行政の設計書であり、住民の日々の生活に直結するだけに、予算案に対しては住民の立場に立ち審議を尽くし、機に応じては修正、組替えを行う必要があるが、なかなか難しい。

将来にわたり益々厳しくなる財政を思うと、さらに真剣に、改革改善への意識改革が必要と考える。